

阿蘇教育事務所の分析結果と今後の取組

1、成果及び課題

(1) 成果（全国平均を上回ったもののうち主たるもの）

○教科の調査の結果から

小学校・国語「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」

中学校・国語「古典の原文と現代文の文章とを対応させて内容を捉えること」、数学「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」、英語「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと」

○質問紙調査の結果から

「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用している」「今住んでいる地域の行事に参加している」「学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」

(2) 課題（全国平均を下回ったもののうち主たるもの）

○教科の調査の結果から

小学校・国語「原因と結果など情報と情報との関係について理解している」、算数「『以上』の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること」

中学校・国語「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること」、数学「自然数の意味を理解している」、英語「『事実・情報を伝える』と『考えや意図を伝える』という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる」

○質問紙調査の結果から

「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の予習や復習を含む）」、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」

阿蘇教育事務所の分析結果と今後の取組

2、今後の重点取組

○ 正答率3割未満の児童生徒への指導の充実

【8月教育長会議、9月校長等会議、学力向上研修会、10月教務主任研修会、12月教頭等研修会 等】

- * 各学校における正答率3割未満の児童生徒のピックアップ
- * 正答率3割未満の児童生徒が授業の中で、分かる喜びや達成感を実感できる授業づくりの工夫
- * 授業における振り返りや適用問題、ミニテスト等を活用して、最低限習得すべき事項が身に付いているかどうかの確認
- * 最低限習得すべき事項が身に付くまで粘り強く指導するなど、誰一人取り残さない指導体制づくり

○ 児童生徒質問紙を受けての対策

【8月教育長会議、9月校長等会議、学力向上研修会、10月教務主任研修会、12月教頭等研修会 等】

- * いつでも、だれにでも相談できる支援体制づくり
- * 自分で計画を立てて勉強するなど、家庭学習の充実
- * 授業で自分の考えを発表する機会の確保（資料や文章、話の組み立てなどを工夫した発表）

○ 研修会等の充実

- * 事務所主催の研修（教頭、教務主任、研究主任）をリンクさせた学力向上に関する各学校の取組充実【5月、10月、12月】
- * 事務所主催の学力向上研修（小学校、中学校国語、中学校数学）における、誤答分析を授業改善につなげるための演習・協議の実施【9月】
- * スーパーティーチャーの活用（授業公開＋実践交流会【8月】、研修における実践紹介【8月、9月】、模擬授業を活用した授業づくり演習等【8月】）
- * 学校支援訪問事業（スクール・アシスト）における継続的な指導助言【通年】